

教材教具および題材	学部	授業名・集団名 (主たる教科領域)	執筆者
大きな紙すき	高	しごと 1年(Ⅱグループ) (職業)	谷川・森本

<ねらい>

- これまでに経験した技法を応用して、新しい製品作りにも見通しをもって取り組むことができる。
- 友達と協力して作業をすることができる。

<内容(作成方法・使用方法・工夫点など)>

しごと1年Ⅱグループでは年間を通して牛乳パックを材料に紙すきに取り組んだ。主に市販のポスタルくんというはがきをすくための枠を用いてはがきをすき、ステンシルをしてカレンダーを作成する活動を行った。はがきをすく技術はほぼ全員が習得し、一人で作業を行えるようになったことから、手法としては、はがきと同じであるが、協力が不可欠となる製品作りを行うことを考えた。

ちょうど文化祭が開かれる年度ということもあり、舞台道具のひとつとして制作することにした。

紙をすくためのすき枠は水を受ける部分は木製なのでシーリング材を使って継ぎ目から水がもれないようにした。枠は重みに耐えられるようにコンクリート補強に使う鉄筋を木材で挟んだ。そこに鉢底ネットに使用する網と網戸の網を置き、パルプ液を流し込めるようにした。最後にすいた紙を190×80センチの板に張り付けて乾燥させるため、それよりもひとまわり小さくなるように作成した。



<良かった点・改善点(児童生徒の反応を含め)>

一枚すくののに1時間以上かかるため、量産はできなかったが、みんなで力を合わせ一つのものを作っていくという過程や大きな物を作るということは生徒たちにとってとてもよい経験になった。いつものはがき作りよりも大変であったが、達成感もいつも以上に感じることができていた。

<その他(材料、費用、購入先等)>

鉄筋、網戸用網…ホームセンター 6千円

※木材は住宅建材からいただいたものを使用